

対象	小学校5年生
教科・領域	理科
単元名	天気の変化
単元指導計画	<p>『台風と気象情報』</p> <p>第一次 台風と気象情報</p> <p>第二次 台風の雲の動きと天気の変化</p> <p>『わたしたちの気象台』</p> <p>第一次 天気による一日の気温の変化</p> <p>第二次 このごろの天気調べ</p> <p>第三次 明日の天気を予想しよう</p>
活用場面1	『台風と気象情報』
ねらい	秋に日本にやってくる「台風」について知る。
導入	<p>台風について、これまでの経験を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪はそれほど被害を受けうことがない。 ・各地でどのような被害がもたらされているのか、被害状況をテレビのニュースやインターネットで確認する。
第一次	<p>1週間の天気図をもとに、台風の進路を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞の切抜きやインターネットで入手した天気図をもとに、台風の動きを確認する。
第二次	<p>台風の雲の動きについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風の雲の形や動きをインターネットの動画で確認する。 ・台風の雲の動きと天気の変化を、天気図をもとに理解する。
活用場面2	『わたしたちの気象台』
ねらい	<p>一日の気温と湿度の変化を観測する。</p> <p>天気の変化の決まりを考える。</p> <p>天気の決まりの変化をもとに、明日の天気を予想する。</p>
導入	暮らしと天気について、これまでの経験を話し合う。
第一次	<p>天気による一日の気温の変化</p> <p>一日の気温と湿度を記録する。</p> <p>気温と湿度の変化をグラフ化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間ごとに気温と湿度を記録する。 ・コンピュータに記録を入力し、折れ線グラフを作成する。 <p>上空の定点観測を行い、雲の動きをデジタルカメラで記録する。</p>
第二次	<p>このごろの天気調べ</p> <p>気温や湿度の変化と雲の動きの変化に関係があることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したグラフと定点観測の写真を並べ、気温や湿度の変化と天気の変化が関連していることを、視覚的に理解する。 <p>天気図の見方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで天気図と衛星写真を入手し、天気図と雲の動きを見比べながら、記号の意味などを理解する。
第三次	天気図と衛星写真をもとに、明日の天気を予想する。
本実践を振り返って	<p>気象の子音を進めるには、天気図や衛星写真など資料が欠かせない。そこで、新聞の切抜きをもとに進めていこうとしたが、本学級では新聞を購読していない家庭が多いことがわかり、授業開始当初からインターネットを活用することが多かった。</p> <p>また、学習していた当時、偶然台風が発生したこともあり、インターネットでよりリアルな画像や動画を簡単に手に入れることができたことで、視覚的に理解させやすかった。</p> <p>本実践では、「ウェザーニューズ」と「D-WEB」というサイトを利用した。特に「D-WEB」では、天気図と衛星写真を並べて見ることができる。プリントアウトし、前線とくもの様子を色分けしながら照らし合わせることで、子どもたちはより理解できた様子であった。</p>